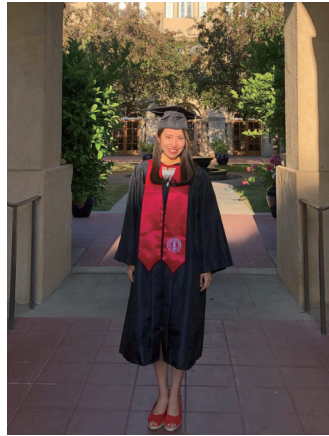




スタンフォード大学
卒業時は、コロナで卒業式が取り止めに。友人のガウンを借りて記念の一枚



ハーバード大学留学中のパーティーにて。日本にはないキャンパスライフ要素が新鮮だった



留学でも社会でも 平岡塾で培った英語力が “挑戦”を支えてくれる

総合コンサルティング企業でセキュリティ分野に従事している杉原真帆氏。東京大学法学部在学中にハーバード大学に留学し、外務省に入省。その後、スタンフォード大学大学院で2度目の留学を経験し、国連代表部勤務を経て現職へ。挑戦し続ける杉原氏を支えてきた、平岡塾での学びについて聞いた。

アクセンチュア株式会社 テクノロジー コンサルティング本部
セキュリティ グループ
マネジャー

杉原 真帆 氏

(女子学院中・高出身、中1から高3まで平岡塾に在籍)

文法を徹底的に叩き込み
読む力・書く力の骨格を築く

——ご経歴を教えてください。

女子学院高校を卒業後、東京大学文科一類から法学部に進学し、在学中にハーバード大学に1年留学して外務省に入省しました。外務省時代にスタンフォード大学大学院に留学し、サイバー政策・セキュリティを専攻しました。ニューヨークの国連代表部勤務などを経て、現在はアクセンチュアでセキュリティコンサルタントとして働いています。

——杉原さんが英語を本格的に学び始めたのはいつですか。

母の勧めで中1から6年間、平岡塾に通いました。長いローテープルに向かい合って絨毯に直接座するという独特な環境に最初は驚きましたが、次第に、不思議と家のような居心地のよさを感じるようになりました。宿題は多かったですが、やり続けることで習慣化し、馴染みの友達も増える中で、高3になる頃には平岡は、日常の一部となっていました。元来地道なタイプなので、主体性に任せるスタイルが私には合っていたようです。

——平岡塾で印象に残っている学びは何でしょうか。

言語学習では何度も繰り返し、違和感がなくなるまで馴染む感覚が大事です。平岡塾では伝統的なオリジナルプリントなどを使って、徹底的



国連代表部時代、他国の外交官たちと慰労会。ハードな日々だったが、心強い仲間たちが支えに

業の専門家などを迎え、様々な切り口で授業が行われていました。それまでサイバーセキュリティは縁遠い分野だと思っていましたが、次第にその発展性や多面性に魅せられ、私のようなバックグラウンドの人間も関わっていくべき分野ではと思うようになり、専攻に決めました。卒業後も、社会におけるサイバーセキュリティの重要性の高まりを感じ、また、スタンフォードの同窓生たちが関連分野で活躍するのを目の当たりをする中で、私もサイバーセキュリティを専門性として据えたいと思うようになり、民間でセキュリティの最前線を見ようと転職を決めました。

スタンフォード大学での2年間と、その後のニューヨークの国連代表部での2年間は、英語で議論や交渉を繰り返す毎日でしたが、多種多様なバックグラウンドの人々と臆さずに英語で対話する原動力を植え付

に文法を叩きこみます。そうして築かれた英文を正確に読む力、書く力は、私の英語力の土台となりました。また、ジョージ・オーウェルの『動物農場』、『1984年』、オルダス・ハクスリーの『すばらしい新世界』などを読みましたが、美しい英語に触れる良さはもちろん、世界中で読み継がれてきた名著を読むことで視野が広がり、批判的視点も持つようになることができました。英語をツールとして学ぶだけではなく、文学的な教養も与えてもらったことは、その後も役立ちとてもありがたかったです。

米国留学で得た原体験から
日本と海外の結節点を志向

——東大では法学部に入っすぐ
にハーバード大学に留学されましたね。

「海外の同年代の学生と切磋琢磨



平岡塾の授業風景。「一生モノの英語力」を求め、首都圏一円の名門中高生たちが集う

けてくれたのは、平岡塾だったかなと思います。ビジネスの世界に身を移した今も、海外のお客様や同僚とやり取りをする中で、生きた英語は役立ち続けていると感じます。

——最後に読者へのメッセージをお願いします。

まず、海外に出るチャンスがあれば積極的に出てみることをお勧めします。国連代表部時代に強く感じましたが、異なる価値観や常識に触れて衝撃を受け、自分や自国を相対化する体験をしてこそ、世界の中でどう振舞うべきかの感覚が掴めるからです。そして、どんなにAIの翻訳機能が発展しても、人間が自分の言葉で会話する価値は残り続けると思っています。文法・語彙・論理などの「話す力」と、ユーモアや共感力などの「伝える力」を大切に、英語や様々な言語を使う醍醐味を感じていただきたいです。



ニューヨーク駐在終わり頃に、国連総会議場にて。未曾有のコロナ禍を経て、ようやく国連に活気が戻ってきた頃